



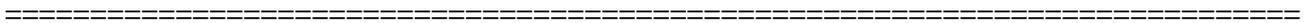
《目次》

◆イベント情報など

- ・ 【中止のお知らせ】対話型全国説明会(鹿屋市会場)

◆その他

- ・ 【NUMOコラム】天然ガラスの話



◆お知らせ/イベント情報など



【中止のお知らせ】対話型全国説明会(鹿屋市会場)

現在、全国で開催中の「高レベル放射性廃棄物の最終処分に関する対話型全国説明会」につきまして、鹿屋市での開催を中止させていただくこととなりましたので、お知らせいたします。

- ・ 2月9日(火)：鹿屋市（鹿児島県）リナシティかのや

新型コロナウイルス感染の発生状況を踏まえ、感染拡大の防止の観点から、説明会を中止させていただくこととしました。

中止になった鹿屋市会場については、現時点では具体的な日程は決まっておりませんが、改めて開催を検討することとしております。

▽「高レベル放射性廃棄物の最終処分に関する対話型全国説明会」の詳細についてはこちら

<https://www.numo.or.jp/taiwa/2018/>



◆その他



【NUMOコラム】天然ガラスの話

ガラスの起源は古くはメソポタミア時代に遡り、現代に至る数千年の間に様々なガラスが開発され、今や私たちの生活に不可欠な材料の一つとなっています。

それらのほとんどすべては古代から人工的に製造されてきたものですが、自然現象に基づいて生成されるガラスは天然ガラスと呼ばれ、いくつかの種類が存在しています。

地表や地下にはSiO<sub>2</sub>（二酸化ケイ素、シリカ）やAl<sub>2</sub>O<sub>3</sub>（酸化アルミニウム）などガラスになりやすい成分を多く含む岩石や土壌が存在するので、それらが何らかの原因で熔融状態になり、比較的早い速度で冷却されるような場合には、結晶化せずに非晶質（アモルファス）の固体、すなわちガラスになることがあります。

比較的よく知られているのは、火山活動の際に溶岩が火山口などで急冷されてできるもので、火山ガラスと呼ばれています。溶岩中の SiO<sub>2</sub> 成分が多いほど粘性が高くてガラス化しやすいとされており、典型的な例に黒曜石があります。黒曜石は SiO<sub>2</sub> 成分の多い流紋岩質の溶岩がガラス化したもので、その鋭い破片が古代人の鎌や槍先などに使用されたことでも知られています。

一方、SiO<sub>2</sub> 成分が比較的少ない溶岩でも噴火など急冷効果が大きい場合にはガラス化することがあり、玄武岩質溶岩がガラス化した玄武岩ガラスなどがその例になります。

火山ガラス以外のものでは、落雷の際に岩石や砂などが溶解してできる閃電岩（フルグライト）と呼ばれるものがあるほか、隕石や隕石落下時の衝撃によって生成したと思われる物体の中にもガラス質の存在が確認されています。また、アポロ計画で月面から持ち帰った月の石の中にも球状のガラスが確認されています。

=====

☆NUMO メールマガジンのご感想やご意見をお待ちしております

[webmaster@numo.or.jp](mailto:webmaster@numo.or.jp) までどうぞ！

\*\*\*\*\*

NUMO ホームページ : <https://www.numo.or.jp/>

YouTube : <https://www.youtube.com/ChannelNUMO/>

Facebook : <https://www.facebook.com/numojp/>

Instagram : <https://www.instagram.com/numo.jp/>

\*\*\*\*\*

メールマガジン解除は「メルマガ解除」と件名記載のうえ下記アドレスへご連絡ください

[webmaster@numo.or.jp](mailto:webmaster@numo.or.jp)

\*\*\*\*\*